

町田市民病院

クォーターリー

トピックス ●特集：脳梗塞

vol.65

- 子ども病院見学会を開催しました
- 市民公開講座「病院に行きたくないならすべきこと 予防したいね、心筋梗塞」を開催しました



子ども病院見学会を
開催しました

特集 脳梗塞

脳神経外科

脳梗塞とは、脳の血管が突然詰まって、血流が途絶え、脳の神経細胞が死んでしまう病気です。脳の神経細胞は、突然血流が止まると数時間以内に完全に死んでしまい、再生は困難です。

そのため、脳梗塞は重大な後遺症が残ることや命に関わることもある病気であり、できるだけ早く治療を開始する必要があります。

症状

- 手足のしびれ、脱力
- めまい、視野障害
- 歩行障害
- 意識障害
- 言語障害



検査と治療～脳梗塞は時間との勝負～

これまでは、脳梗塞の悪化や再発を防ぐための治療（抗血栓薬、脳保護薬、抗脳浮腫薬など）が中心でした。

一方最近では、詰まった血管を早期に再開通させれば、脳梗塞に陥る脳の領域を少しでも小さくすることができ、症状が回復する可能性があることがわかってきています。

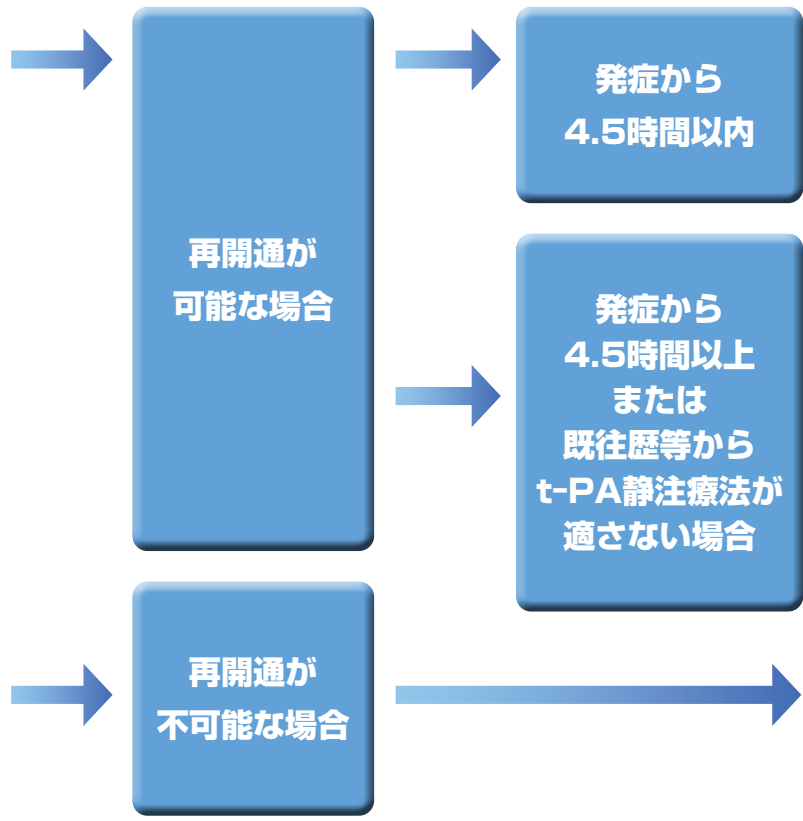
ただし、血管の再開通治療を行うには発症から数時間以内である必要があるため、脳梗塞の治療は時間との勝負です。

◆検査：CT検査、MRI検査

脳梗塞の進行度合や脳組織の状態を確認し、血管の再開通が可能かどうかを判断します。

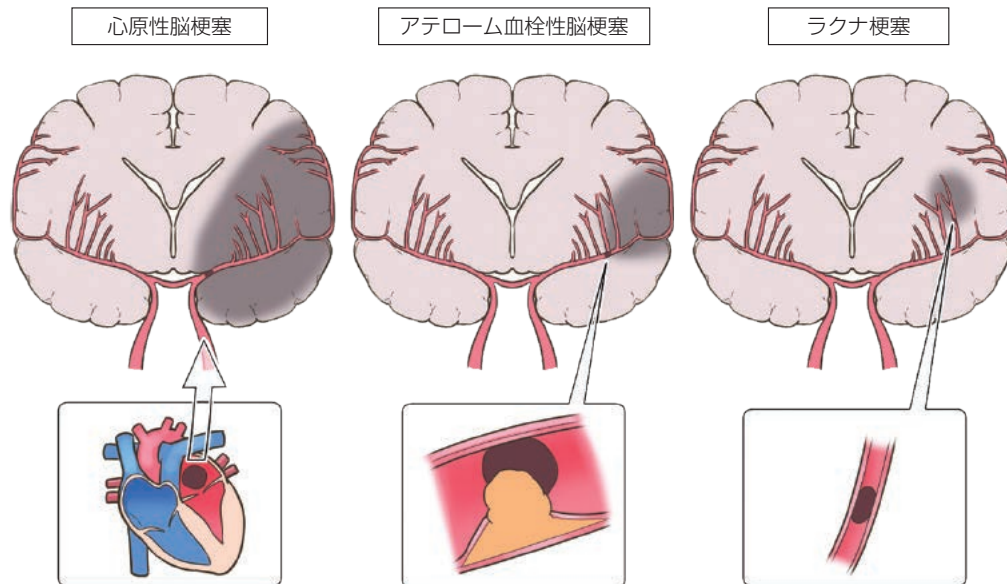


MRI



種類と原因

- **心原性脳塞栓症**：
心房細動などの不整脈が原因となってできた血栓が、心臓から脳に流れて詰まるもの。
- **アテローム血栓性脳梗塞**：脳血管の動脈硬化が原因となるもの。
- **ラクナ梗塞**：脳内の細い血管が閉塞して起こるもの。



◆治療：t-PA静注療法（血栓溶解療法）

t-PAという薬を、約1時間かけて点滴します。

t-PAは、血栓を溶かして、閉塞した血管を再開通させる働きがあり、特に脳血管に詰まった新しい血栓に対して効果を発揮します。

重大な副作用として、脳梗塞を起こした部分の血管や細胞がもろくなっていると、脳出血を起こす場合があります。

脳出血は、高血圧や高血糖、高齢者の人などに生じやすく、大出血となって命に関わることもあります。

◆治療：血栓回収術（カテーテル治療）

カテーテルという細い管を、太腿の太い動脈から脳内に挿入して、詰まった血管を再開通させます。

詰まった血栓を砕く方法や、ステントと呼ばれる金属の管を使用して血管を拡張する方法があります。

◆治療：抗血栓薬、脳保護薬、抗脳浮腫薬など従来の治療

悪化や再発を防ぐための薬を点滴します。

再開通のための治療と比べて副作用は少ないですが、症状の改善は不十分なことが多いです。

効果が
ない場合



子ども病院見学会を開催しました

2025年11月22日(土)、子ども病院見学会を開催しました。

2023年度までは新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンラインで開催していましたが、今回も2024年度に引き続き、参加者を当院に招いて開催しました。

子ども病院見学会とは？

市内の子どもたちに病院の仕事や医療について興味を持ってもらうとともに、将来の仕事として医療に従事することを目指すきっかけにしてもらうことを目的に、2012年度から開催しています。

開催概要

- 日時：11月22日(土)
午前9時～午後0時30分
- 場所：町田市民病院
- 対象：市内在住・在学の小学校4～6年生
- 定員：40名（応募者332名から抽選）
- 費用：無料



集合写真（4グループのうち1グループ）

内容・当日の様子・参加者の感想

内視鏡体験

胃の模型や輪ゴムなどを使用して、内視鏡の操作を体験しました。

感想

- 内視鏡の技術がすごいと思った。
- 輪ゴムを取るのには難しかった。
- 普段できないことができて楽しかった。



内視鏡体験の様子①



内視鏡体験の様子②



内視鏡についての説明の様子

わかる!できる!!AED

看護師と一緒にAED操作や心臓マッサージを体験し、使い方を学びました。

感想

- 自分たちにもできることがあることを知った。
- AEDの使い方がわかったので、もし人が倒れていたなら、助けてみたい。



AED体験の様子①



AED体験の様子②



AEDについての説明の様子

CT・MRI

CT・MRIの撮影見学や、撮影された画像の処理体験、磁場や騒音の体験をしました。



CT操作体験の様子

感想

- 撮影されたタイの中身を見られるのがおもしろかった。
- 撮影する場所の空気が好きだと思った。



MRI磁場体験の様子

薬剤師のお仕事体験

お菓子を使った調剤体験や、薬の成分による配合変化の実験をしました。

感想

- 前から気になっていたけど、もっと薬剤師として働きたくなった。
- 色が変わるかどうか実験したりして楽しかった。



一包化体験の様子



調剤体験の様子



配合変化の実験の様子

栄養科ってどんなところ？

学校給食と病院食との違いや配膳車による病院食の運搬について学び、管理栄養士がつくったおやつを試食をしました。



講座とおやつを試食の様子

感想

- チョコムースにマシュマロが使われていて驚いた。
- おやつがすごくおいしかった。



試食したチョコムース

全体に関する感想

開催後に実施したアンケートでは、97%の子どもたちが「とても楽しかった」または「楽しかった」と回答しました。

また、同伴した保護者に対して実施したアンケートでは、回答者のうちすべての保護者が「参加してよかった」と回答しました。

そのほか、子ども病院見学会全体に寄せられた感想をご紹介します。

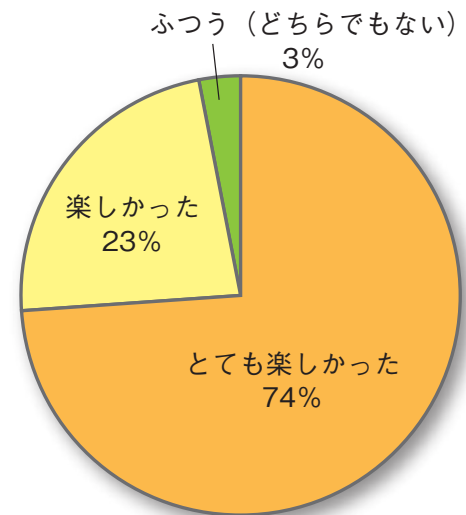
◆子どもたちの感想

- 病院は広いだけでなく、いろいろな仕事があるんだと思った。
- 前から病院で働きたかったけど、この見学会でこれまで知らなかったことを知れて、もっと病院で働きたくなった。
- 長い時間、ずっと楽しむことができた。
- 医師は大変な仕事だと思った。

◆保護者の方の感想

- 健康、医療について考えるきっかけになった。
- 人が倒れた時の対応、AEDの取扱い方を実践で学べて良かった。以後、他でAEDを目にした際に思い出して、周囲の人に、恥ずかしがらずに助けを求められることができたらしいと思う。
- いろいろな専門家によって日々の我々の医療が支えられていることが理解できたと思う。何より人を救う現場を具体的に見て体験したことによって、今後の将来の選択肢に医療に携わる職を加えるかどうか判断する材料になったと思う。
- 「助けてもらう」観点から「助ける」視点を持たたこと、病院には様々な仕事があり、すべてが人を助ける仕事であること、自分たちは多くの人に支えられて助けられ生きていることを学べたと感じる。
- 普段は、病気や怪我をしないと縁がない病院だが、患者さんをみるサイドからのアプローチは、どんなことをして、どう人の役に立っているのか実感できたのではないかなと思う。子どもだけでなく親も、知らないことが沢山あったので、家に帰ってから、いろいろと話をしたいと思う。
- 医療に興味がない子でも、病院がこわいというイメージを持っている子でも実際にふれる事ができ大変勉強にもなるし、イメージも変わると思う。ただこわいだけではなく、医療従事者の方がいかに大変かというのもわかると思うのでいい経験になる。

参加した子どもたちの回答



今回も非常にたくさんのご応募をいただき、当日の体験にも好評をいただきました。当院ではこれからも、子どもたちが医療に興味を持てるような取組を継続していきます。

市民公開講座

「病院に行きたくないならすべきこと 予防したいね、心筋梗塞」を開催しました

当院では、医療情報を発信し、市民の健康増進に寄与するとともに、市民の当院に対する信頼を高めることを目的に、身近な病気などを取り上げ医師がわかりやすく解説する市民公開講座を実施しています。

2025年7月19日(土)、2025年度2回目の市民公開講座を開催しました。なお、今回は循環器内科医と管理栄養士を講師として、2部構成で実施しました。



講座当日の様子（第一部）

- ◆日 時：2025年7月19日(土)
10時00分～11時00分（9時30分受付開始）
- ◆場 所：町田市民病院 南棟3階講義室
- ◆テーマ：病院に行きたくないならすべきこと予防したいね、心筋梗塞
- ◆講 師：【第一部】循環器内科診療部長 佐々木毅 医師
内 容：①狭心症発作の事例
②虚血性心疾患の検査、原因、手術
③動脈硬化の症状、原因
④心筋梗塞を予防するために気を付けたいこと
【第二部】栄養科 海老沢咲 管理栄養士
内 容：①食事と動脈硬化の関連
②おいしく減塩するための工夫
③高血圧を防ぐ食事方法
④適正体重を維持する工夫



講座当日の様子（第二部）

◆参加者のご意見（一部抜粋）

- 日頃予防する上での注意事項、心掛けることが大変よくわかりました。生活習慣を見直すきっかけとしたいと思います。
- 狭心症などは寒暖差によるものと思っていました。食事に関係あるとは思いませんでした。
- 食事に気をつけていたつもりでも、まだまだと再確認しました。
- 高血圧なので薬だけに頼らず減塩にも気を付けたいと思います。

参加者満足度の円グラフ

